

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本語表現法基礎 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	【建築工学コース:必修科目】【建築コース:必修科目】【デザインコース:必修科目】						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	教材:名古屋大学日本語研究会GK7著『スキルアップ!日本語力』(東京書籍) ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。						
日程と内容	第1回:講義概要 第2回:教科書「はじめに」1回目 第3回:教科書「はじめに」2回目 第4回:敬語1 1回目 第5回:敬語1 2回目 第6回:敬語2 1回目 第7回:敬語2 2回目 第8回:敬語3 1回目 第9回:敬語3 2回目 第10回:文法1 1回目 第11回:文法1 2回目 第12回:文法2 1回目 第13回:文法2 2回目 第14回:文法3 1回目 第15回:文法3 2回目・まとめ 定期試験 第16回:前期のまとめ						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	50%					
授業到達目標の達成度	素点の平均が80点近くあり、日本語表現方法の基礎知識を身につけるために、受講生の大多数はまじめに努力したと考えられる。						
反省点	○受講生が100人前後なので、受講生の文章表現を添削する機会が少ない点。 ○学生たちの言語生活の実態を引き続き把握する作業を継続していくこと。 ○いわゆる「若者言葉・表現」が急激に変化している状況で、適切な「言葉・表現」とはどのようなものかを考察していくこと。						
来年度の計画	テキストが例題一解説一練習と、構成がよくできており、受講者がテキストに対して意欲的に取り組むための動機付けに努めたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	「授業に刺激されて授業内容に興味を持つようになりましたか。」という項目のポイントが相対的に低い。日本語の面白さを、もっと受講生に伝えたい。						
履修登録者数	96名	定期試験 受験者数	95名	合格者数	95名	合格率	100%